

北アルプス医療センターあづみ病院 令和3年教育計画

北アルプス医療センターあづみ病院教育理念：J A長野厚生連教育理念に則った、患者主体の看護を提供できる看護師を育成します。

教育目的：地域からのニーズに応じ、チーム医療の中で適切な看護を提供するために、看護倫理に基づいた行動と人間力豊かな感性を育み、専門的知識・技術を向上させ、自律した看護実践ができる人材を育成する。

教育目標：1. 臨床看護実践能力レベルに基づいたキャリア開発ができるように、臨床実践・教育・管理に必要な知識・技術・態度に関する学習の機会を提供する。
2. 社会人、医療人としての基本的なコミュニケーション技術を身に付け、患者・家族、チーム医療内の人間関係を築き、調整を図る。
3. 知識・技術の習得し、経験から学ぶことにより臨床判断力を高め、適切な看護サービスを提供できる。
4. 看護サービスの質の向上、組織目標の達成のために看護実践や役割などを通してマネジメント能力を養う。
5. 看護実践を客観的に捉え、論理的思考や科学的な裏づけに基づき分析し、研究的に取り組む姿勢を養う。
6. 各自が主体的に仕事の目的・目標を選択し、仕事とライフスタイルの調和や自分らしさを創るキャリアが開発できる。

レベル別研修（ナースングスキル 必須）

対象者	動画講義名	視聴期間	概要	学習目標
ラダーレベルⅠ	看護記録 ～基礎編～	7-9月	看護記録の基礎知識について学習する。看護記録の基本的な知識、看護記録と法律の関係や看護記録の目的、内容について、看護記録に書かなくてはならない情報や書いてはいけない表現について、具体例とともに学ぶ。	1. 看護記録の基本的な知識を習得する 2. 看護記録に書かなくてはならない情報や、書いてはいけない表現について理解する
	会議参加の心得	10-12月	会議（カンファレンス）を意味あるものにするために参加者としての心構えを学ぶ。会議の種類を元に、参加者が何を求められているかを理解し、「時間厳守」「メモをとる」「現場をイメージしながら聞く」「分からないことはその場で解決する」など自発的な行動をとる方法を学ぶ	1. 会議によって参加者が求められている役割を知る 2. 会議参加の心得を理解する
	災害時の医療と看護 （スタッフ編）	1-3月	災害時にスタッフが担うべき看護とはどのようなものかを学ぶ。災害発生時でも病院での業務を継続するために必要なプロセス、災害発生時の安全行動について考え、災害急性期の看護実践、避難所の概要を理解し、避難生活で起こり得る健康被害と予防について学ぶ	1. 災害時の医療対応の特徴を踏まえた看護実践について考え、自己に求められる能力と課題を明らかにする。 2. 災害時に自らの命を守る行動が想定できる。
ラダーレベルⅡ	聴く力	4-6月	仕事の基本は「相手の立場に立ち、その思いを受け止めてよりよい方向へ進む支援をする」こと。そのために重要なのが「聴く」。「聴く」ことの意味合いやその効果、聴くスキルの基本を学ぶ。	1. 「聴く」ことの意味合いやその効果、聴くスキルの基本を学ぶ。
	患者相談・苦情対応	7-9月	患者と接する時間の多い看護師は、様々な相談や苦情を受ける機会が多く、過剰・不当な内容のものは個人や組織を疲弊させるリスクとなる。日常で身近に起こる苦情や相談に、どのように対応し有用に活用していくかのヒントを学ぶ	1. 患者相談・苦情対応のステップを理解できる。 2. 相談や苦情に臨む自分の特性を踏まえた注意点を確認することができる。 3. 患者相談・苦情対応のスキルを理解・実践できる。
	病院看護師が行う入院支援	10-12月	退院調整が重要視されるようになった社会的背景や退院支援の概要について学習する。看護師が退院支援で担う役割や必要な基本的な知識、退院支援のプロセス、多職種と連携・協働することの重要性や必要な視点などを学ぶ	1. 退院支援が必要になった背景について学ぶ。 2. 退院支援をする看護師に大切なことは何かを学ぶ。 3. 多職種連携チーム作りとチームによる退院支援の重要性について学ぶ。 4. 本人を尊重した関わりを大切にすることの重要性を理解する。
	病院働く職員に向けた臨床倫理	1-3月	職種にかかわらず、病院で働く誰もが知っておきたい“倫理”について分かりやすく解説。日常の業務で遭遇するような身近な事例を検討しながら、医療倫理について学びを深める	1. 臨床倫理の基本的な原則を学ぶ。 2. インフォームド・コンセントならびにそれと対になる診療辞退について学習する。 3. 医療におけるプライバシーと守秘義務について学習する。 4. 人生の最終段階、終末期医療における医療・ケアの倫理について、国内外の動向を含めて学習する。

ラダーレベルⅢ	看護記録 ～中堅編～	4-6月	より質の高い看護記録を目指して、質の高い看護記録の要件を理解し、記録様式による記録方法の違いや、効率よく記録するための検討事項について学ぶ。また、看護記録が法的証拠能力を持つこと、具体的な医療事故発生時の記録の基準について学習し、最終的には、看護記録に関する教育と監査の必要性について理解を深める	1. 質の高い看護記録の要件、記録方法を理解する 2. 看護記録の法的な位置付けや医療事故発生時の記録の基準を理解する 3. 看護記録の教育、監査の必要性について理解する
	アサーティブコミュニケーション	7-9月	相手を傷つけないことなく、自分の気持ちや考えを伝えるコミュニケーション手法が「アサーティブコミュニケーション」。相手だけではなく、自分も大切にするアサーティブコミュニケーションの基本とスキルを学ぶ。自身のコミュニケーション傾向のチェックや病棟での事例VTRなどを通して、アサーティブコミュニケーションとは何か、必要性、具体的な実践方法を学ぶ	1. アサーティブコミュニケーションの意義と重要性を理解する。 2. 自分の伝えたいことを適切に表現する。 3. 自分も相手もストレスを感じないコミュニケーションが取れるようになる
	医療職のための会議ファシリテーション	10-12月	ファシリテーションの基本とそのスキルを学ぶ。ファシリテーションとは何か、その役割、ファシリテーターとしての事前準備について深め、何のために会議を実施するのか、時間・空間のデザイン、ツールなど細かに設定する必要性を理解する。	1. 事前準備の重要性を理解する。 2. 話し合いの基本構造の3ステップを理解する。 3. 拡散と収束の具体的なスキルを習得する。
	入退院支援部門におけるソーシャルワーク	1-3月	ソーシャルワークやソーシャルワーカーの役割について学び、退院支援のプロセスや実際の支援方法について理解する。ソーシャルワーカーの概要や役割、退院支援に関わる社会保障制度の内容、退院支援のプロセスについて、実際の事例を通して具体的な支援方法について理解を深める	1. ソーシャルワーカーの役割を理解する。 2. 日本における社会保障制度について学習する。 3. 退院支援のプロセスを学び、実際の事例から具体的な支援方法を考えることができる。 4. 退院支援における看護師とソーシャルワーカーの連携について理解する。
ラダーレベルⅣ	組織も人もつぶさない！未来に価値が残る組織づくりNo1 ～つぶれない、つぶされない組織をつくろう～	4-6月	つぶれない、つぶされない組織づくりを目指すためのエッセンスについて、地域との連携の重要性など現代の医療を取り巻く状況を交えながら、4つの項目を学ぶ。（外來の重要性について、インクルーシブな組織づくりについて、ユビキタスクア、切れ目のないケアの実践について学び、地域と病院の連携について、現代における「IT革命、シンギュラリティの時代においてどのように組織を変革していくべきか」）	1. 医療を取り巻く社会情勢を理解する。 2. 外來看護の重要性を理解する。 3. インクルーシブな組織がどのような組織かを理解する。 4. 地域と病院の連携の重要性を理解する。 5. シンギュラリティの時代を生き抜くための考え方を理解する。
	組織も人もつぶさない！未来に価値が残る組織づくりNo2 ～つぶれない、つぶされないヒト・自分をつくろう～	7-9月	ソフト面である「じんざい」つまり組織成員にスポットをあてた組織づくりについて学ぶ。（スタッフを「人財」として捉え、スタッフの育成に必要とされるエッセンスについて、想像力と創造力を働かせたダイアログを展開していくためのノウハウについて、医療の上位目的と支援側の幸福と譲り、看護師が幸福であるための自己理解、自己成長に役立つ理論・概念について学び、中でもSense of Coherence（首尾一貫感覚）について理解を深める、ワークライフインテグレーションの概念について学び、組織成員が幸せに働くことができる組織について理解を深める）	1. 組織における人財育成で必要とされる事項を理解する。 2. 人財育成では、想像力と創造力を用いることが重要になることを理解する。 3. Sense of Coherenceについて理解する。 4. 組織のアウトカムには組織成員のアウトカムも含まれることを理解する。
	日常の看護ケアで考える倫理	10-12月	「倫理」とは何かを日常の看護ケアを振り返りながら考える。臨床倫理とは何か、看護に必要な臨床倫理の原則に沿って、「物語られるいのち」の観点から、医療者・看護師としての視点・姿勢について理解する。ACP（人生会議）において、看護師が意思決定を支える役割をどのように果たすべきなのかを確認、事例検討の必要性と「臨床倫理検討シート」の活用方法を学ぶ	1. 臨床倫理とは何かを理解する。 2. 臨床倫理の原則を学び、看護師にとっての倫理的なあり方とは何かを知る。 3. ACP（人生会議）における看護師の役割を確認する。 4. 臨床倫理検討シートの活用方法を理解する。
	リーダーシップ&フォローアップ	1-3月	病院・組織・チームで、主に人間関係に原因があると思われる前嫌が起きている。このような事態を防ぎ、すべての医療人がやりがいを持って働き続けられる組織をつくっていくには、一人ひとりの管理者の役割が重要となる。そのために管理者・中間管理者に必要な見方や考え方、態度について学ぶ。特に、コミュニケーション、リーダーシップ、フォローアップの3つについて詳しく学習する	1. スタッフのモチベーションを高め、仕事に「やりがい」を感じられるようにするためにどのようなことが必要かを学ぶ 2. スタッフのモチベーションを高める「承認」とはどのようなものかを学ぶ 3. スタッフとより良い人間関係を構築するために必要なコミュニケーション力とはどのようなものかを学ぶ 4. リーダーに必要な資質やリーダーシップとはどのようなものかを学ぶ 5. フォロースHIPとはどのようなものか、フォロースHIPが適切に働くために必要なことを学ぶ

ラダーレベV	人材育成の中核 ～看護ケア提供システムをとおして考える～	4-6月	看護管理者が日本の医療状況の変化を理解し、専門職としての看護師のあり方を基盤とした上で、人材を育成する上で中核となる考え方について学習する。看護の専門職性と看護を取り巻くさまざまな状況の変化について理解する。専門職としての学習の継続とその手段について学ぶ。人材のとらえ方について、看護ケア提供システムの視点から検討し、課題について、人材育成の一つの方法であるOJTについて振り返り、職場の課題と効果的なOJTについて検討する	1. 看護を取り巻く状況の変化と自部署の課題について検討する 2. 専門職として求められる学習の継続と実際とのギャップについて考察する 3. 看護管理者としての自己の学習の継続と課題を抽出する 4. 自部署の看護ケア提供システムの評価と人材育成・活用について検討する 5. 施設・自部署のOJTの課題を抽出し、効果的なOJTについて検討する
	管理者に求められる倫理的なリーダーシップ	7-9月	臨床倫理が定着する組織づくりのための看護管理者向けの講義。看護管理者として踏まえておくべき基本的な倫理原則を確認。患者の意思決定を支えるために必要な「生命の二重性」について理解し、患者の意思を尊重するためにACP（人生会議）が担う機能と、ACPにおける医療者の役割について理解を深める。臨床におけるアドボケートの意味と看護師の役割について学ぶ。倫理的な組織文化を醸成していくためのチーム医療のあり方、管理者として持つべき視点を養う。事例検討に役立つ「臨床倫理検討シート」の活用方法について	1. 臨床倫理の原則を理解する。 2. 患者にとって最善を選択するための意思決定のプロセスを学び、そのためのACP（人生会議）のあり方を理解する。 3. 臨床におけるアドボケートの意味、アドボケートとしての看護師の役割を理解する。 4. 組織文化に臨床倫理を定着させるための医療チームのあり方を学ぶ。 5. 臨床倫理検討シートを活用できるようになる。
	看護マネジメントメントリフレクション	10-12月	リフレクション（内省）を応用して、看護管理者として成長していくための管理者向け講義。リフレクションの意味を知り、反省との違いについて理解する。続いて、看護管理におけるリフレクションの手法と実践のポイントについて学ぶ	1. リフレクション（内省）と反省の違いを知る。 2. 看護マネジメントリフレクションの概念を理解する。 3. 看護マネジメントリフレクションの実践方法を学ぶ。
	災害時の医療と看護 （管理編）	1-3月	災害時に管理者として担うべき看護とはどのようなものかを学ぶ。災害発生前の事前対策について、事業継続計画（BCP）およびその策定プロセスについて、災害サイクルとその各期における看護管理の在り方について学ぶ	1. 災害時の医療に関連した法律とその要点を述べることができる。 2. 行政の災害対応体制の概要・厚生労働省防災業務計画の要点を説明できる。 3. 災害時の医療対応の特徴と課題を説明できる。 4. 災害時の保健医療ニーズの最小化・保健医療資源の最大化に向けた取り組みを考えることができる。 5. 病院避難の方法や手段および留意点を説明できる。 6. BCP策定の意義を説明し、各STEPの要点を説明できる。 7. 災害急性期での対応の組織化・システム化における留意点や課題解決プロセスを説明することができる。 8. 災害亜急性期・慢性期における看護管理上の課題と対策を述べることができる。
ラダーレベルⅠ～V （一般病棟）	手技 重症度・医療・看護必要度Ⅱの評価（一般病棟用）①②③のテストを実施 動画講義 『重症度・医療・看護必要度』令和2年度改定のポイント	4-8月		

レベル別研修（集合研修）

対象者	研修名	研修日	目的	目標	方法	担当者
ラダーレベルⅢ～Ⅳ	倫理事例検討	年2回予定 日程は後日 （同内容の研修を実施）	事例を通し、臨床実践の場における倫理的問題への対処方法を考え、実践できる	1. 部署の倫理的問題・課題をに気づき、取り組みや対処方法を考えることができる。 2. 倫理的ふるまいについて学び、部署内の役割モデルとなる。	事前課題：ナースングスキル	現任教育委員会
	ファシリテーション研修	年2回 日程は後日	話し合いの円滑な運営を促進し、参加メンバーの自主性を向上させる ファシリテーションの基礎スキルを学ぶ	1. ファシリテーションの役割を学び、ファシリテーションに関するスキルを養うとともに、日々の実践のふりかえりから、今後の課題が明確になる。	事前課題：ナースングスキル 医療職のための会議 ファシリテーションスキル 講義 グループワーク	現任教育委員会

役割別研修

対象者		研修名	研修日	目的	目標	方法	担当者
レベルⅠ	新人看護師	メンバーシップ	7月	チームの中で求められる役割を理解し、メンバーシップを発揮する。	1. 部署内での自分の役割を理解する。 2. 自己と他のメンバーの立場や役割を認識し、チームの一員として他のメンバーとチームワークをとり患者に看護を提供する。	講義 グループワーク	固定チーム推進委員
	プリセプター	プリセプター研修	3-4月 7-8月 12月 3月	プリセプターの役割を理解し、自部署での新人看護師への教育方法について考え実践できる。	1. プリセプターの役割について、講義やグループワークを通して理解を深める。 2. 自己の新人看護師への関わりから、自己の教育的関わりの課題を考えらる	講義 グループワーク	新人教育委員会 (プリセプター担当者)
レベルⅡ	リーダー	リーダーシップⅠ	6月 9月 2月	リーダーシップの基本的な考え方を学び、リーダー役割を担う上で必要な役割機能・態度を習得できる。	1. リーダーとしての方向性が明確になりその責任が遂行できる。 2. チームの中で、日々リーダーとしての役割を理解し、課題が明確になる	講義 グループワーク	現任教育委員会 固定チーム推進委員
	チームリーダー	リーダーシップⅡ	5月 10月 2月	リーダーとして実践できるために、自己の課題を明確にする。 チーム・部署の問題解決のために向けた課題を明確にし、チーム活動を実践できる。	1. リーダーの役割を学び、自己の課題を明確にできる。 2. チーム・部署の現状を分析し、問題を明確になりながら問題解決に取り組む。 3. 年間も目標の立案を学び、実践に則した目標・計画を立案できる。	講義 グループワーク 固定チームナースング：目標 中間発表 成果発表	現任教育委員会 固定チーム推進委員
レベルⅢ・Ⅳ	教育担当者	教育担当者研修	4-5月 10月 2月	看護教育の考え方について理解し、課題が明確にできる	1. 看護教育に必要な知識や心構えを学び、実践を交えながら教育場面を内省し、傾向や課題を明確にし、実践する	講義： グループワーク	新人教育委員会

看護研究

対象者	研修名	研修日	目的	目標	方法	担当者
看護研究実践者	看護研究	日程は後日	看護研究の意義や目的を理解しできる 看護研究のテーマを考え、看護研究計画書を立案し、実践できる	看護研究の意義や目的について学ぶ。また、研究発表に至るまでのプロセスについて知り、将来の看護研究活動の足掛かりとする 看護研究のプロセスを学び、文献検索やクリティックができる。 看護研究計画書を作成し、実践できる	e-ラーニング	看護研究
					講義：木下愛未さん	
					院内学会発表	
					院外学会発表	

専門研修研修

がん化学療法看護（ナースングスキル）

対象者	講義名 手技：カテゴリー	動画講義名	期間	概要	学習目標
ラダーレベルⅠ～Ⅳ	＜がん看護技術＞ ONC-0001 がん薬物療法の実施 ONC-0002 がん薬物療法オリエンテーション 手順・基本事項・病院独自（ケモセーフロックの使用） 映像・テストの各項目を熟読する ＜クリティカルケア看護技術＞ CRI-0003 皮下埋め込み型ポート：ポート針穿刺・抜去・ケア 手順・基本事項・病院独自・映像・テストの各項目を熟読する	なし	1年間	がん薬物療法の実施、オリエンテーションについて、手順・基本事項・病院独自・映像・テストの各項目に沿って学ぶ。 皮下埋め込み型ポートの穿刺・抜去・ケアについて、手順・基本事項・病院独自・映像・テストの各項目に沿って学ぶ。	1. 看護師ががん薬物療法の実施の手順について理解ができる 2. 看護師ががん薬物療法を手順に沿って実施できる 3. 看護師ががん薬物療法に伴う副作用の予防対策・早期発見・対応ができる 4. 看護師ががん薬物療法に関連する職業性曝露の予防ができる 5. 皮下埋め込み型ポートの穿刺・抜去・ケアが手順に沿って実施できる
ラダーレベルⅠ ラダーレベルⅡ	＜がん看護技術＞ がん治療に伴う有害事象マネジメントの項目から興味のある項目を3つ選択し熟読する	安全な静脈注射の実施を目指して ～レベル1・2～	1年間	第1回は、看護師による静脈注射の歴史的背景と意義について知識を習得。第2回および第3回では静脈の解剖学的知識と静脈穿刺時の合併症を学ぶ。それらを踏まえて、第4回と第5回では合併症の予防とリスクの対処法を学ぶ。	1. 看護師による静脈注射の意義について理解できる 2. 静脈の解剖学的知識を踏まえ、安全な血管の選択方法を学ぶ 3. 静脈穿刺時の事故発生後の対応ができる 4. 静脈注射の合併症の予防、早期発見、対応ができる 5. 末梢静脈留置針の安全管理ができる
ラダーレベルⅢ ラダーレベルⅣ	＜がん看護技術＞ がん治療に伴う有害事象マネジメントの項目から興味のある項目を5つ選択し熟読する	安全な静脈注射の実施を目指して ～レベル3～	1年間	静脈注射に関する基礎知識をもち、静脈穿刺の実施を志す看護師に向けた講義。第1回は、看護師による静脈注射の歴史的背景と意義について知識を習得。第2回および第3回では静脈の解剖学的知識と静脈穿刺時の合併症を学ぶ。それらを踏まえて、第4回と第5回では合併症の予防とリスクの対処法を学ぶ。	1. 看護師による静脈注射の意義について理解できる 2. 静脈の解剖学的知識を踏まえ、安全な血管の選択方法を学ぶ 3. 静脈穿刺時の事故発生後の対応ができる 4. 静脈注射の合併症の予防、早期発見、対応ができる 5. 末梢静脈留置針の安全管理ができる

緩和ケア分野

対象者	研修名	研修日	目的	目標	方法
ラダーレベルⅠ	新人看護師研修・2年目看護師研修年間教育プログラム参照	新人看護師研修・2年目看護師研修年間教育プログラム参照	緩和ケア対象者（患者・家族）を全人的に捉え、緩和ケアにおける基礎・基本を身につけることができる	新人看護師 1.緩和ケアの定義がわかる 2.全人的苦痛（トータルペイン）とは何かがわかる 3.全人的苦痛（トータルペイン）への対応がわかる 4.もしバナーゲームを体験し、自身の人生最期の過ごし方を考え、自己の価値観を明確にすることができる 5.緩和ケア対象者の過ごし方を考えることや価値観に触れることの大切さを理解することができる 6.看取りのためのパンフレットの内容がわかる 7.エンゼルケア・エンゼルメイクの技術を理解することができる 2年目看護師 1.患者の感情表出を促すコミュニケーションスキルがわかる 2.家族ケアの方法がわかる	講義
ラダーレベルⅡ以上	ナースングスキル動画講義 ・専門領域スキルアップ 「アドバンス・ケア・プランニングとは？」	動画再生時間 約68分 期間：1年	＜概要＞ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の概要から具体的な進め方まで、事例を交えながら学習する。ACPの必要性、効用と問題点を学ぶ。ACPとアドバンス・ディレクティブ（AD）との違いを理解し、本人・代理決定者・医療者の三者で話し合うことの重要性を考える。ACPの概要を理解し、具体的な支援の方法を学習する	1.ACPの概要について理解できる 2.なぜ、いまACPが着目されているのが理解できる 3.ACPとADの違いからACPにおいて本人・代理決定者・医療者の三者で進めていくことの重要性が理解できる 4.ACPの効用と問題点が理解できる 5.なぜ、ACPが「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に盛り込まれているのか学び、平成30年改訂の要点を把握する 6.ACPの進め方の概要および具体的な方法が理解できる	ナースングスキル動画講義 テスト回答
ラダーレベルⅡ以上	ナースングスキル動画講義 ・専門領域スキルアップ 「家族に寄り添うグリーフケア」	動画再生時間 約74分 期間：1年	＜概要＞ エンゼルケアの基本、死化粧、グリーフケアの目的と家族とのコミュニケーション、急死した場合の死後処置とそれらのグリーフケアについて学ぶ。患者の死に関わる看護の仕事において、身体の死後の変化を踏まえたケアのポイントを理解し、家族の心情をくみとりながら行うグリーフケアについて学ぶ	1.エンゼルケアおよびグリーフケアの基本的な考え方、技術を理解する 2.家族の視点を理解し、医療者としてどのような対応をすべきか考える	ナースングスキル動画講義 テスト回答

皮膚・排泄ケア領域

対象者	研修名	研修日	目的	目標	方法
ラダーレベルⅢ・Ⅳ	ストーマケアの基礎（周術期以外）	日程は後日	ストーマケア方法の基礎を理解し、看護のポイントを学ぶ	コロストミー・イレオストミー・ウロストミーの全てにおいて 1. ストーマの観察項目を理解する 2. ストーマ装具の取り扱いを習得できる 3. ストーマケアが実践できる	講義と演習
ラダーレベルⅡ・Ⅲ	コンチネンスケアの基礎	日程は後日	コンチネンスケアを理解し、看護のポイントを学ぶ	1. コンチネンスケアを理解する 2. おむつを正しく当てることができる	講義と演習
ラダーレベルⅢ・Ⅳ	下部尿路機能障害の基礎と尿路感染症の具体的予防策	日程は後日	下部尿路機能障害を理解し、看護のポイントを学ぶ	1. 下部尿路機能障害について理解する 2. 排尿日誌の記載方法を理解し、活用できる 3. 排尿ケアの実践を学ぶ	講義と演習
（令和2年褥瘡・スキンケア研修未受講者）					
対象者	動画講義名	期間	概要	学習目標	備考
ラダーレベルⅡ～Ⅲ	最新のエビデンスに基づいた褥瘡管理方法 第1回褥瘡の国際的定義と褥瘡の予防。 第2回では褥瘡の予防と治療への介入 第3回では創傷のアセスメント 第4回ではトピックとして、医療関連機器圧迫創傷やスキン・ケア	1年間	褥瘡の予防と治療：クイックリファレンスガイド日本語版」に基づいて、日々のケアに活かせる最新の褥瘡管理方法について学習する。	1. 褥瘡の国際的定義と褥瘡の予防について理解する。 2. 褥瘡の予防と治療への介入について理解する。 3. 創傷のアセスメントについて理解し、医療関連機器圧迫創傷やスキン・ケアについて理解する	令和2年褥瘡・スキンケア研修会のどちらか受講した⇒ 第3回創傷のアセスメントのみ 両方とも未受講 ⇒第1回～4回

院外研修

レベルⅠ	看護協会 レベルⅠ 3支部合同新人研修	医療安全研修会	年間2回の受講が必須
レベルⅡ	フレッシュ研修（3年目）（厚生連） ICSLセミナー 看護協会 レベルⅡ 農村保健研修センター		
レベルⅢ	認定看護師・専門看護師・学会認定資格など 幹部看護職員研修（厚生連） ファシリテーション研修（厚生連） 看護協会 レベルⅢ 農村保健研修センター		
レベルⅣ	ファーストレベル（看護協会） 目標管理（厚生連） 医療メディエーション 看護協会 レベルⅣ 農村保健研修センター		
レベルⅤ	セカンドレベル・サードレベル（看護協会） 医療安全管理者 看護協会 レベルⅤ 農村保健研修センター		
		院内感染対策研修会	